

第3回 大島学園 学園運営協議会 議事録

R5.7.26

1. 開会行事

会長挨拶、 学校長挨拶、 日程説明

2 児童生徒会との交流

阿部校長

第三回目の学園運営協議会、どこまで進んでいるのか、子どもたちがどんなことを学習しているのか、頑張っているのかを知ってほしいと思います。ここからは、すべて生徒に任せようと思います。生徒の皆さん、ぜひ大人に訴えたいこと、話したいことをたくさん話してください。

① 児童生徒会より、総合的な学習の時間に取り組んでいることの発表【全体交流】

生徒会長の話

地域との交流の場を作ってくださいありがとうございます。今私達は、総合の学習の時間の中で、大島の課題解決や活性化に向けて頑張っています。地域の方と課題解決に向けて話し合うことができればいいなとおもいます。

各学年の取組は次のような内容です。

1, 2年生「おおしまのうみだいすき」

3, 4年生「大島レッツ塩タイム」

- ・普通の塩と大島の塩食べ比べ→大島の塩の特色
- ・河辺さんへのインタビュー

5, 6, 7年生「甘夏で大島を盛り上げよう」

- ・甘夏畑の復興
- ・味を決めるために色んな人にインタビュー
- ・パッケージデザイン
- ・七夕まつりでの甘夏ゼリー販売

8年生「大島の人と防災のプロになろう」

- ・地域の人々の防災意識調査（地域の人へインタビュー）
- ・二次災害のおそれがある場所をまとめた
- ・避難所体験

9年生「大島の課題解決に向けて自分たちにできることを考えて実践しよう」

- ・看板の設置、大島の料理紹介レシピブック
- ・大島の課題を少しでも解決したい
- ・大島のために働くことができ嬉しい。
- ・今後、看板・マップの作成、キャラクターデザイン

② 今後の取組について意見交流を行う。【グループ別交流・ワールドカフェ形式】



③ 話し合ったことを発表する。【全体交流】

一班 地域活性・福祉

- ・大島のことをたくさん知ってもらうためにアカウントの作成
- ・パンフレットの表紙にキャラクターを貼る
- ・イベントを増やす（次はどうやったら盛り上がる？を考える）
- ・移住者をたくさん増やすためにどんなことをしたらいいかをこれからかんがえる

二班 地域活性・福祉

- ・苗植え体験で一人ひとりが甘夏の木を育てる→育てた甘夏を使って商品化
- ・高齢者と観光客とともに甘夏収穫をする体験

三班

- ・被災した人の話を聞く
- ・土砂崩れしやすい場所はリサーチしたけれど、建物の倒壊まではわからないため調べる

四班

- ・人との繋がりを大事に
- ・住み続けられる島をつくる
- ・実際に災害が起こったとき、積極的に中学生が動いて高齢者を避難させたり、避難所で率先して動いてくれることで大人が他のことをできる

3 指導助言 【福岡教育大学教職大学院 坂井先生】

坂井先生

地域の皆さま、中学生と話をしていかがでしたでしょうか。元気がもらえたのではないでしようか。皆さまが真剣に笑顔で話されているのが印象的でした。中学生が、子どもは守られる側だが、守られる側から守る側へ立場をうつして自分たちに何ができるか考え自分たちが力にならないといけないと考えていると感じられました。子どもたちは、大島で取り組んでいること（問題解決思考）で問題解決のプロセスを学んでいると感じました。中学生の皆さん、今取り組んでいること、うまくいかないこともあると思いますが、粘り強く思いをもって取り組んでもらいたいと思います。

4 閉会行事

宗像市教育委員会挨拶

学校、家庭、地域、子どもたちが話し合い、これからの学びに必要な形が作られていくのを見せていただきました。大島学園の取組を他の地域にも紹介していけたらと思います。

佐々木主幹指導主事

生徒の皆さんが、すべての学年が取り組んでいることを把握していることはすごいと思いました。大島の事を発信することについて、島の外の人を知りたいと思う情報について考えたり、いつでも知れるシステムを考えたりしたらいいのではと思いました。学園のキャラクターとか考えたらどうかと思います。